



図 2: モニタ LED, キーボード。

0.3.3 メモリ内のデータの読みだしの仕方

メモリの中に入っているデータを読み出すときにはボタン M を用います。8400H 番地のデータを読み出すときには, M を押して 8400 と入力すると 8400H 番地のデータが表示されます。次の番地のデータが見たいときは, INC を押すことで次の番地に進みます。また, DEC を押すことで一つ前の番地のデータを読むことができます。

0.3.4 メモリの書き込みの仕方

メモリにデータを書き込むときは, ボタン W を用います。8400H 番地に 01H というデータを書き込む場合は, まずボタン M を押し, 8400 と入力することで 8400H 番地に移動する。次に, W を押すことで書き込みモードにし, データを入力します。次の番地に書き込みたいときには INC を押すことで, 次の番地に書き込みます。また, DEC を押すことで一つ前の番地のデータに書き込みます。

0.3.5 実験プログラムを入れることのできるメモリの領域

実験プログラムなどを入れることができるメモリの領域は 8400H-EFFFH です。実験で作ったプログラムはその番地に書き込んでください。サブルーティンや数値データはすぐ隣の番地に置かず, 離れた番地に置くと, プログラムを修正する場合や書く加える時に便利です。

0.3.6 プログラムの実行, リセットの仕方

プログラムを実行する場合には, G ボタンを用います。8400H 番地から書き込んだプログラムを実行する場合は, M ボタンを押し, 次に 8400 と入力することで 8400H 番地に移動